CSRへの取り組み

“CSR”とはCorporate Social Responsibilityの頭文字をとったもので、一般に「企業の社会的責任」と呼ばれています。“CSR”という言葉自体は、近年海外からもたらされたものですが、当社はこれまでも社会に対してさまざまな貢献を通して社会的責任を果たしてきました。たとえば、商品やサービスの提供、雇用、納税、メセナ活動などです。

本報告書は、当社が昨年度に取り組んだCSR活動推進の記録です。昨年度のさまざまな取り組みの中から、ステークホルダーとの関係、CSRマネジメントシステム、各部門におけるCSR活動推進のサイクルの3点に絞って取り上げています。

●ステークホルダーとの関係

日商コンピューターの事業活動は、数多くのステークホルダー（会社に対する利害関係者）との関係があって初めて成り立ち、企業としての存続が可能になっています。ステークホルダーとの良好なコミュニケーションと、より良い信頼関係の構築が、CSR活動推進と会社の持続的な発展のためにたいへん重要であると考えます。

日商コンピューターでは、当社の事業活動に特に関わりの深いステークホルダーを、下図のように、お客様、お取引先、株主、社会、社員の5つのグループに区分し、このいずれからも信頼される会社であるよう、事業活動を通してさまざまな貢献をしていきたいと考えています。

公正な取引に基づくパートナーシップ

対価

商品・サービス・満足

対価

ビジネスの場の提供

地域への貢献

社会への貢献

投資

配当

お取引先

お客様

株主

社会

社員

安定した生活基盤

労働力

●CSRマネジメントシステム

CSRの全社活動をマネジメントシステムととらえ、次のワークフローに沿って継続的にCSRが機能していくように管理しています。

・方針と目標設定

経営方針の中で、CSRマネジメントの方針と目標を具体的に明示する。

・組織と責任の明確化

CSR委員会以下、各層、各部門の責任を明確に示す。

・計画の策定

CSRマネジメントの方針に従って、全社の活動計画を策定する。

・実行

計画に沿った全社活動が推進され、必要に応じてフィードバックが行われる。

・監査

監査部門によって定期的に監査が行われ、問題があるときは是正に向けた改善策が検討される。

・マネジメントレビュー

監査結果がトップマネジメントに報告され、必要に応じて方針と目標の見直しが行われる。

方針と目標設定

組織と責任の明確化

計画の策定

実行

監査

マネジメントレビュー

●各部門におけるCSR活動推進サイクル

各部門における社員一人ひとりがあらゆる事業活動において、CSRに対する考え方を徹底することが、CSR活動推進には不可欠です。そのために、CSR推進のPlan→Do→Check→Actionのサイクルを回して、全部門に意識の徹底を図り行動をうながしています。

本報告書に関する問い合わせ先

　〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-2-2　日商コンピューター株式会社　CSR推進室

　担当：関口正俊（TEL: 03-3283-7904、e-mail: masatoshi.sekiguchi@nishocomputer.co.jp）